

第19回

# 水俣病 記念講演会

歯止め  
としての  
記憶



Photo by Takeshi Shiota 1971

胎児性水俣病の上村智子と父・好男を撮るWユージン・スミス

講演

小笹 恵 米本浩二 森 達也 立岩真也

水俣病患者

作家

映像作家

社会学

司会

いとうせいこう

作家・クリエイター

2023年4月29日(土・祝)午後2時30分～6時(2時開場)／立命館大学朱雀キャンパス大講義室

主催：水俣フォーラム・立命館大学生存学研究所／後援：京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞社・京都新聞社・共同通信社・NHK 京都放送局・MBSテレビ・KBS 京都・朝日放送テレビ・読売テレビ／入場料(ライブ配信とも)：一般＝当日2000円、前売1500円／30代以下＝当日1500円、前売1000円／全席自由

▶ YouTube ライブ配信のお申込みはこちらまで [kinenkouenkai19.peatix.com](https://kinenkouenkai19.peatix.com) (見逃し配信有)

**開催にあたって** 1956年5月1日に発生が報告されて以来半世紀、水俣病は日本が強引に近代化を進める中で惹き起こされたために、またあまりに悲惨であったために、現在もおこの社会を鋭く問うています。さらに今日に至っても新たな患者からの認定申請がつづき、その総計は20万人とも30万人とも言われています。このような中で水俣フォーラムは、水俣病事件の今日的な意味を発見し、その教訓を語り継いでいくために、水俣病公式確認の日にちなんだ記念講演会を毎年開催してきました。初の近畿開催となる今回は立命館大学生存学研究所との共催で「歯止めとしての記憶」をテーマに、水俣病の記憶を紡いでいきたいと思ひます。皆様のご来場をお待ちしております。



**小笹 恵** おさざめぐみ

水俣病患者。1954年水俣市の対岸、鹿児島県獅子島に生まれる。65年水俣市出月へ移住。中学卒業後、名古屋への集団就職をへて大阪に移住。父は水俣病に対する国の責任を確定した関西訴訟原告団長。自身も05年に認定申請。07年に同じ元原告の坂本美代子とともに熊本県知事との面会を求め座り込みを行う。同年多田諤子反権力人権賞を坂本とともに受賞。



**米本浩二** よねもとこうじ

作家。1961年徳島県に生まれる。早稲田大学卒業後、徳島県職員をへて毎日新聞社に入社。2000年西部本社学芸部に異動、石牟礼道子を初めて取材。18年『評伝 石牟礼道子』で読売文学賞評論・伝記賞を受賞、水俣フォーラム主催「石牟礼道子さんを送る」に登壇。20年に退職、作家に専念。著書に、『魂の邂逅 石牟礼道子と渡辺京二』『水俣病闘争史』など。



**森 達也** もりたつや

映像作家。1956年広島県に生まれる。立教大学卒業後、テレビ番組制作会社に入社。97年オウム真理教が題材の映画『A』を制作、国内外で論議を呼ぶ。2001年続編『A2』が山形国際ドキュメンタリー映画祭で特別賞・市民賞。08年以降、水俣フォーラムの催しで講演。12年明治大学特任教授。19年『i-新聞記者ドキュメント』公開。初の劇映画『福田村事件』公開予定。



**立岩真也** たていわしんや

社会学。1960年新潟県に生まれる。東京大学大学院修了後、千葉大学、信州大学医療技術短期大学部をへて立命館大学大学院先端総合学術研究科教授。「障老病異」を課題とする同大生存学研究所設立にかかわり現在所長。原田正純らを引用して水俣病や椿忠雄について論ずる。『私的所有論』『良い死』『病者障害者の戦後-生政治史点描』など著書多数。



**いとうせいこう**

作家・クリエイター。1961年東京都に生まれる。早稲田大学卒業後、編集者。88年に『ノーマライジング』で作家デビュー。99年『ボタニカル・ライフ』で講談社エッセイ賞(2014年NHKドラマ化)。13年『想像ラジオ』で野間文芸新人賞。水俣病展2017(熊本)で胎児性水俣病患者・加賀田清子と対談。ライブ、音楽活動なども続け、世代を超えて支持を集める。

**水俣病ブックフェア**

同時開催

ノンフィクションはもとより小説、写真集、文庫、新書、絵本など、水俣病に関する書籍やCDなど130点を一堂に集めて販売します(宅配受けあり)。

**これまでの開催とテーマ**

- 1996年 東京 「水俣の事実は現代日本に何を語るのか」
- 1999年 東京 「私たちは何を失ったのか、どこへ行くのか」
- 2000年 東京 「水俣病と現代社会の加害と被害を考える」
- 2001年 東京 「この日本に生まれて」
- 2002年 東京 「自然からの剥離の中で」
- 2003年 東京 「分断と交感を生むもの」
- 2004年 東京 「改めて原点から考える」

- 2005年 名古屋 「社会という幻影」
- 2006年 東京 「新たな50年のために」
- 2007年 札幌 「生命へのまなざしを問われて」
- 2008年 東京 「目を開き、耳をすまして」
- 2009年 北九州 「崩壊と蘇生の間で」
- 2010年 東京 「逆照射される私たち」
- 2012年 東京 「人間存在の極限に」
- 2013年 福岡 「花を奉る」

- 2014年 東京 「ともに生きていく」
- 2015年 東京 「いま、人として」
- 2016年 東京 「祈るべき 天と思えど 天の病む」
- 2016年 東京 「地の低きところを 這う 虫に逢えるなり」
- 2016年 東京 「われもまた 人げんの いちにんなりしや」
- 2017年 福岡 「何を失ったのか」
- 2019年 東京 「民を棄てる国」
- 2021年 東京 「天のくれらすもん」

**これまでの出演者**

【患者】	緒方正実	杉本雄	原武千潮	石牟礼道子	上野千鶴子	栗原彬	成元哲	富樫貞夫	日高六郎	吉井正澄	奥田愛基	斎藤季夫	長倉洋海
生駒秀夫	川本愛一郎	杉本肇	吉永理巴子	磯崎新	内橋克人	崔洋一	高橋源一郎	中島岳志	丸山定巳	若松英輔	落合恵子	澤地久枝	P・バラカン
諫山茂	佐藤英樹	杉本肇	阿部謹也	井上ひさし	大岡信	最首悟	田中優子	中村桂子	森岡正博	【司会】	上條恒彦	下村健一	平田オリザ
緒方正人	杉本栄子	仲村妙子	網野善彦	色川大吉	岡本達明	斎藤美奈子	筑紫哲也	萩尾望都	森まゆみ	大石芳野	木村友祐	高橋長英	本間千枝子
			池澤夏樹	宇井純	加藤典洋	佐高信	鶴田和仁	原一男	柳田邦男	大倉正之助	小島慶子	田口ランディ	三砂ちづる
				上田紀行	鎌田慧	C.W.ニコル	鶴見俊輔	原田正純	除本理史	荻上チキ	小宮悦子	竹下景子	蓮舫

**会場チケット発売中** ※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

- チケットぴあ系列のセブンイレブンとファミリーマート、ローソンチケット系列のローソンとミニストップで前売券をお求めになれます。いずれも手数料がかかりますが、店頭で端末操作を簡単にするチケットぴあの「Pコード」ナンバーは「650-112」、ローソンチケットのLコードナンバーは「52913」です。なお、ファミリーマートでの購入は、チケットぴあWebサイトで申込み後の店頭受け取りとなります。
- お求めやすい4枚つづり前売券は、一般5000円、30代以下3000円です。下記の方法でお申し込み下さい。
- 郵送をご希望の方は、郵便局備え付けの郵便振替用紙をご利用いただき、口座番号欄に「00120-4-398614」、加入者名欄に「水俣フォーラム」、通信欄に「記念講演会前売券希望」とご記入のうえ、券種・枚数を明記してご送金下さい。ご入金を確認次第、チラシ・チケットをお送りします。なお郵便振替用紙でのお申し込みは、4月20日(木)の受付印で締め切らせていただきます。
- 前売券、当日券とも全席自由席となっておりますので、お早めにお越し下さい。

**ライブ配信視聴受付中**

- YouTubeライブ配信(見逃し配信有)での視聴です。  
kinenkouenkai19.peatix.com にアクセスのうえ、チケットをご購入下さい。



**【会場】立命館大学 朱雀キャンパス大講義室**  
TEL:075-813-8315

- JR(京都駅から山陰本線で2駅) 二条駅東口より徒歩2分
- 市営地下鉄東西線二条駅より徒歩3分
- 阪急京都線大宮駅北口より徒歩10分

この講演会は、関西よつ葉連絡会、生活クラブ京都エール・コープ、使い捨て時代を考える会、安全農産供給センター、坂ノ途中、あおぞら財団、京都民主医療機関連合会、阪南中央病院水俣病に向きあう会、ゆうとおん、部落解放同盟京都府連合会、部落解放同盟貝塚支部、京都教区カトリック正義と平和協議会、創価学会平和委員会、大阪法律センター法律事務所、チッソ水俣病「知ろっと」の会、ティグレフォーラム、アマタホールディングス、エックス都市研究所、環境構想研究所に協賛、からたち(水俣)、カライモブックス、京都・水俣病を告発する会に協力いただきました。

